



session 2

CBL所蔵資料を読む
版本 (2)





【テキスト】

※ 『月次のあそび（十二月品さだめ）』 Monthly activities (Tsukinami no asobi), CBL J 1662 〔後半〕
https://viewer.cbl.ie/viewer/image/J_1662/1/

七月うらぼんにもなれば（13／23）、すゝめ百になれと（14／23）、おなじく十五夜月見（16／23）、十月十九日明日は（17／23）、すでに十月廿日（18／23）、としもほどなくくれて（21／23）



Monthly activities (Tsukinami no asobi), CBL J 1662

○七月うぐいす
 ろれいあつせがえん
 人おやにせがえの
 うんあひのわかれを
 かなしみてほとけを
 ちかき比みうしな
 りやう（精霊）をち
 そうする
 らうにやくともし
 火をかゝげぶつみ
 やうをとなへかな
 しむ也
 ちかき比みうしな
 いしほとけには三
 とせのうち高とう
 ろ（高灯笼）を

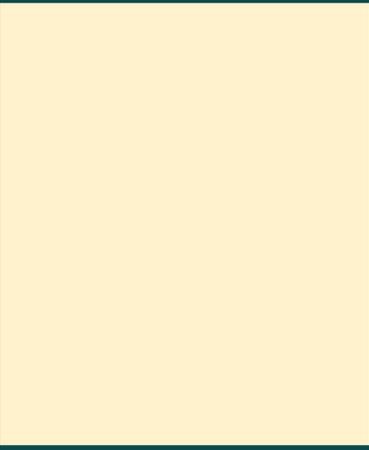
みな
 人おやにはなれ又
 おんあひのわかれを
 かなしみてほとけに
 きやうよう（供養）
 のため
 とておわしをほど
 かすおのがすみ家
 にはたなをかざり

みな

人おやにはなれ又
 おんあひのわかれを
 かなしみてほとけに
 きやうよう（供養）のた
 め
 とておわしをほど
 かすおのがすみ家
 にはたなをかざり

二夜三日しやう

りやう（精霊）をちそ
 うする
 らうにやくともし火
 をかゝげぶつみやう
 をとなへかなしむ也
 ちかき比みうしな
 いしほとけには三と
 せのうち高とうろ
 （高灯笼）を





Monthly activities (Tsukinami no asobi), CBL J 1662

○七月うらばん
 ろれいさくせがき
 人ぼうずせがきの
 さんざんせをもち
 とついでらとてはち
 つかひを打て
 やたいに飯をもち
 かみにてはたをこ
 しらへさして町
 きてきやうをよみ
 袖ごひをするみな
 人おやにはなれ又
 おんあひのわかれを
 かなしみてほとけに
 きやうよう（供養）のため
 とておわしをほど
 かすおのがすみ家
 にはたなをかざり
 玉まつりとてさま
 のへちんぶつをと
 のへ二夜三日しやう
 りやう（精霊）をちそうする
 らうにやくともし火
 をかゝげぶつみやう
 をとなへかなしむ也
 ちかき比みうしない
 しほとけには三とせ
 のうち高とうろ（高灯笼）を
 ともしければ
 いたかどうろは
 みる人の
 目の
 うわ火かな

○七月うらばん
 ろれいさくせがき
 人ぼうずせがきの
 さんざんせをもち
 とついでらとてはち
 つかひを打て
 やたいに飯をもち
 かみにてはたをこ
 しらへさして町
 きてきやうをよみ
 袖ごひをするみな
 人おやにはなれ又
 おんあひのわかれを
 かなしみてほとけに
 きやうよう（供養）のため
 とておわしをほど
 かすおのがすみ家
 にはたなをかざり
 玉まつりとてさま
 のへちんぶつをと
 のへ二夜三日しやう
 りやう（精霊）をちそうする
 らうにやくともし火
 をかゝげぶつみやう
 をとなへかなしむ也
 ちかき比みうしない
 しほとけには三とせ
 のうち高とうろ（高灯笼）を
 ともしければ
 いたかどうろは
 みる人の
 目の
 うわ火かな

○七月うらばん（盂蘭盆）にも
 なれば方／＼のぐわん
 人ぼうずせがき（施餓鬼）の
 くわんじんとてはち（鉢）
 をつきどら（銅鑼）を打て
 やたいに飯をもち
 かみにてはたをこ
 しらへさして町／＼
 きてきやうをよみ
 袖ごひをするみな
 人おやにはなれ又
 おんあひのわかれを
 かなしみてほとけに
 きやうよう（供養）のため
 とておわしをほど
 かすおのがすみ家
 にはたなをかざり
 玉まつりとてさま
 のへちんぶつをと
 のへ二夜三日しやう
 りやう（精霊）をちそうする
 らうにやくともし火
 をかゝげぶつみやう
 をとなへかなしむ也
 ちかき比みうしない
 しほとけには三とせ
 のうち高とうろ（高灯笼）を
 ともしければ
 いたかどうろは
 みる人の
 目の
 うわ火かな

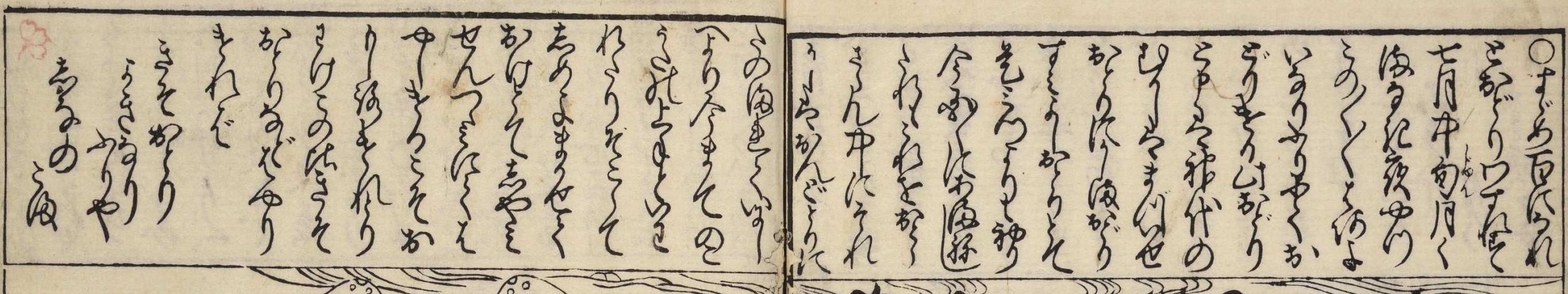


Monthly activities (Tsukinami no asobi), CBL J 1662





Monthly activities (Tsukinami no asobi), CBL J 1662



○すゝめ百になれ
どおどりわすれず

七月中旬月く

まなき夜やつ

この／＼／＼

此おどり

と申は神代の

むかしはまづいせ

おどりにかしまおどり

すみよしおどりとて

だれもこれをおどら

ざらん中にそれ

がしはおんどりに

たのまれていにし

へより今までのこ

うたの上手といわ

れたりそこらで

しめよまかせて

おけとてしやみ

せんつゝみにては

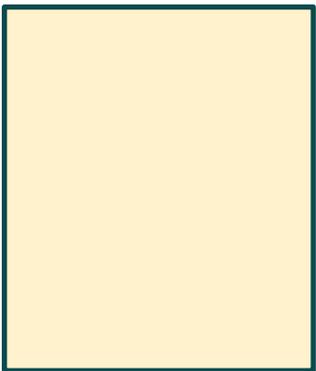
やしけるこそお

もしろけれとり

わけこの比きそ

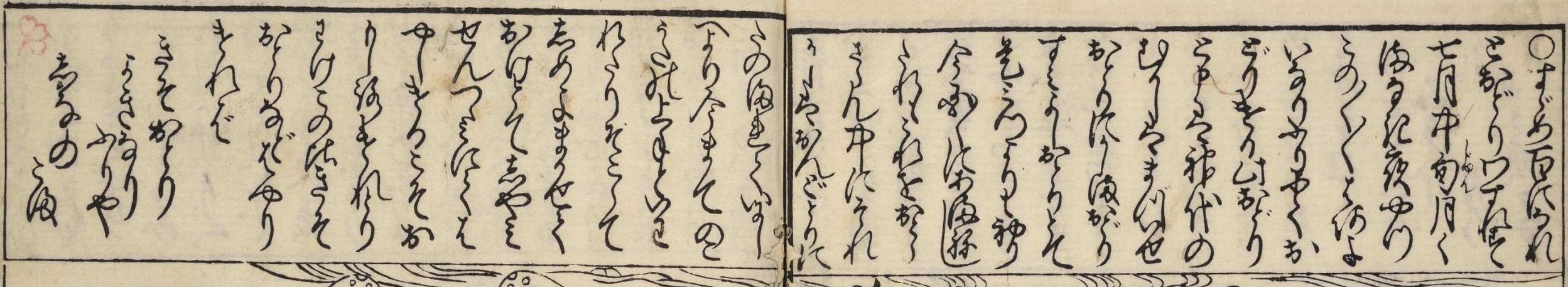
おどりなどはやり

ければ





Monthly activities (Tsukinami no asobi), CBL J 1662



○すゝめ百になれ
どおどりわすれず
七月中旬月く
まなき夜やつ

この／＼／＼はあよ
いなりふりにてお

どりけり此おどり

と申は神代の

むかしはまづいせ

おどりにかしまおどり

すみよしおどりとて

是みつよりも初り

今国／＼にあまねし

だれもこれをおどら

ざらん中にそれ

がしはおんどとり

たのまれていにし

へより今までのこ

うたの上手といわ

れたりそこらで

しめよまかせて

おけとてしやみ

せんつゝみにては

やしけるこそお

もしろけれとり

わけこの比きそ

おどりなどはやり

ければ

つきそおどり

よきなり

ふりや
しなのごま



Monthly activities (Tsukinami no asobi), CBL J 1662





Monthly activities (Tsukinami no asobi), CBL J 1662

○おなじく十五夜
 月見にとて思ひ
 くじやふねを
 かざり上るりこ
 うたまひうたひお
 どりなどにて品
 川のほとりつく
 だじま本庄川
 すじあさくさ
 川などにながれ
 行てつゝみたいこ
 しやみせんふゑ
 などをはやし
 たておなをばゑ
 申まひよなふしや
 んとさせられた
 まらぬおもしろい
 などとてさけ
 のみてそろり／＼
 と

まらぬおもしろい
 などとてさけ
 のみてそろり／＼
 と
 申まひよなふしや
 んとさせられた
 まらぬおもしろい
 などとてさけ
 のみてそろり／＼
 と
 川などにながれ
 行てつゝみたいこ
 しやみせんふゑ
 などをはやし
 たておなをばゑ
 申まひよなふしや
 んとさせられた
 まらぬおもしろい
 などとてさけ
 のみてそろり／＼
 と
 だじま本庄川
 すじあさくさ
 川のほとりつく
 どりなどにて品
 うたまひうたひお
 かざり上るりこ
 月見にとて思ひ
 くじやふねを
 ○おなじく十五夜

○おなじく十五夜
 月見にとて 思ひ
 〳〵にやかたぶねを
 かざり上るりこ
 うたまひうたひお
 どりなどにて品
 川のほとりつく
 だじま本庄川
 すじあさくさ
 川などにながれ
 行てつゝみたいこ
 しやみせんふゑ
 などをはやし
 たておなをばゑ
 申まひよなふしや
 んとさせられた
 まらぬおもしろい
 などとてさけ
 のみてそろり／＼
 と



Monthly activities (Tsukinami no asobi), CBL J 1662

○おなじく十五夜
 月見中よと思ひ
 くはゆきやむせ
 かざりよ上りこ
 うたまひうたひお
 どりななどにて品
 川のほとりつく
 だじま本庄川
 すじあさくさ
 川などにながれ
 行てつゝみたいこ
 しやみせんふる
 などをはやし
 たておなをばゑ
 申まひよなふしや
 んとさせられた
 まらぬおもしろい
 などとてさけ
 のみてそろりく
 と両ごくばしの
 ほとりにて花
 火たてる所もあり
 方くの川すじ
 よりおもひく
 出るふねはいく
 千そうといふ数
 をしらずぞいで
 ける
 空色や
 こよひの
 月も
 はれこそで

まらぬおもしろい
 などとてさけ
 のみてそろりく
 と両ごくばしの
 ほとりにて花
 火たてる所もあり
 方くの川すじ
 よりおもひく
 出るふねはいく
 千そうといふ数
 をしらずぞいで
 ける
 空色や
 こよひの
 月も
 はれこそで

○おなじく十五夜
 月見にとて 思ひ
 くはゆきやむせ
 かざりよ上りこ
 うたまひうたひお
 どりななどにて品
 川のほとりつく
 だじま本庄川
 すじあさくさ
 川などにながれ
 行てつゝみたいこ
 しやみせんふる
 などをはやし
 たておなをばゑ
 申まひよなふしや
 んとさせられた
 まらぬおもしろい
 などとてさけ
 のみてそろりく
 と両ごくばしの
 ほとりにて花
 火たてる所もあり
 方くの川すじ
 よりおもひく
 出るふねはいく
 千そうといふ数
 をしらずぞいで
 ける
 空色や
 こよひの
 月も
 はれこそで

○おなじく十五夜
 月見にとて 思ひ
 くはゆきやむせ
 かざりよ上りこ
 うたまひうたひお
 どりななどにて品
 川のほとりつく
 だじま本庄川
 すじあさくさ
 川などにながれ
 行てつゝみたいこ
 しやみせんふる
 などをはやし
 たておなをばゑ
 申まひよなふしや
 んとさせられた
 まらぬおもしろい
 などとてさけ
 のみてそろりく
 と両ごくばしの
 ほとりにて花
 火たてる所もあり
 方くの川すじ
 よりおもひく
 出るふねはいく
 千そうといふ数
 をしらずぞいで
 ける
 空色や
 こよひの
 月も
 はれこそで



Monthly activities (Tsukinami no asobi), CBL J 1662





Monthly activities (Tsukinami no asobi), CBL J 1662

○十月十九日 明日は
 あきなふをとり
 ぞりてあき人を
 志すもよしとて
 さきさかなをとり
 のへていはふ日な
 れば
 まはるの分限は
 ありていふを
 ついでうらうら
 とうらうらうら
 ようらうらうら
 鳴山のりやうし
 すなどりども大
 海にあみをおろ
 して今この時と
 うをとりをばい

あきなふをとり
 ぞりてあき人を
 志すもよしとて
 さきさかなをとり
 のへていはふ日な
 れば
 まはるの分限は
 ありていふを
 ついでうらうら
 とうらうらうら
 ようらうらうら
 鳴山のりやうし
 すなどりども大
 海にあみをおろ
 して今この時と
 うをとりをばい

十月十九日 明日は
 取びすかうなり
 とてあき人は
 しだしどもをかひ
 さけさかなをと、
 のへていはふ日な
 れば

さる

によつてうら／＼
 嶋山のりやうし
 すなどりども大
 海にあみをおろ
 して今この時と
 うをとりをばい／＼
 するみなとにこ
 ぞりて

とりたいさんに

魚

あきなふをみ
 て

かりうどや
 かせぎに
 おいつく
 びんぼなし



Monthly activities (Tsukinami no asobi), CBL J 1662

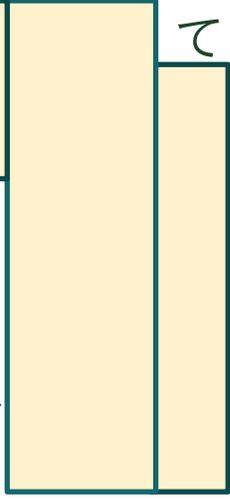
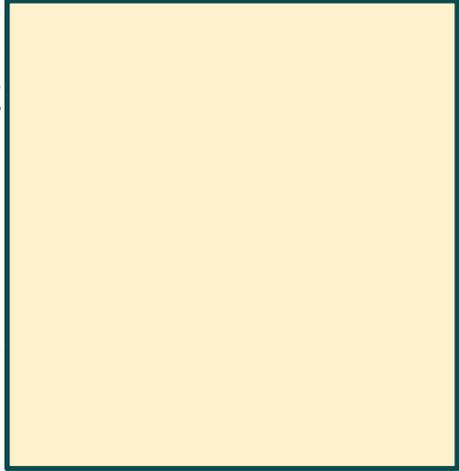




Monthly activities (Tsukinami no asobi), CBL J 1662

○すでに十月廿日
 多ひもくろひなま
 をかうそ日本国
 中うらく里に
 ばおよそ日本国
 中うらく里に
 はゑびすにくど
 そなへて一日一夜
 あきないの利徳
 をねがふいわんや
 したしきともを
 ちそうするなり
 すでにさかもりに
 なればたがひに
 みだれあひてさ
 いつさゝれつのみあ
 ふといへどもたべよひ
 て
 しかしながら
 げこのもちによい
 たるよりはよし
 といふ
 むかい酒や
 かみち
 かへりばな

すでにさかもりに
 なればたがひに
 みだれあひてさ
 いつさゝれつのみあ
 ふといへどもたべよひ
 て
 しかしながら
 げこのもちによい
 たるよりはよし
 といふ
 むかい酒や
 かみち
 かへりばな





Monthly activities (Tsukinami no asobi), CBL J 1662

○すでに十月廿日
 あひし御城下な
 らあき人のより
 わらひし御城下な
 とすよこんのの
 御当地は諸国
 をねがふいわんや
 そなへて一日一夜
 あきないの利徳
 中うら／＼里／＼に
 はゑびすにくど
 そなへて一日一夜
 わらひし御城下
 とすよこんのの
 御当地は諸国
 をねがふいわんや
 そなへて一日一夜
 あきないの利徳
 中うら／＼里／＼に
 はゑびすにくど

すでにさかもりに
 なればたがひに
 みだれあひてさ
 いつさゝれつのみあ
 ふといへどもたべよひ
 て一かいきやうのあ
 まりにたちさはぐ
 ていもみぐるしけ
 れどもしかしながら
 げこのもちによい
 たるよりはよし
 といふ
 むかい酒や
 かみち色づく
 かへりばな

○すでに十月廿日
 ゑびすかうになれ
 ばおよそ日本国
 中うら／＼里／＼に
 はゑびすにくど
 そなへて一日一夜
 あきないの利徳
 をねがふいわんや
 御当地は諸国
 のあき人のより
 あひし御城下な
 ればしよこんの
 りやうりにちん
 ぶつをとゝのへて
 したしきともを
 ちそうするなり
 すでにさかもりに
 なればたがひに
 みだれあひてさ
 いつさゝれつのみあ
 ふといへどもたべよひ
 て一かいきやうのあ
 まりにたちさはぐ
 ていもみぐるしけ
 れどもしかしながら
 げこのもちによい
 たるよりはよし
 といふ
 むかい酒や
 かみち色づく
 かへりばな



Monthly activities (Tsukinami no asobi), CBL J 1662



と お 利 〽 〽 と く に お 金 取 て ろ う り 松 か そ き つ 〽 〽 つ そ や す の を 事 が を 下 下 く ▲ と



〽 かし金や





Monthly activities (Tsukinami no asobi), CBL J 1662

▲としもほどなく
 くれはとも正月
 下旬になれどと
 下としとり子
 をひとて心のいそ
 がはしき事やむ
 事なしまづす、
 をはきて一とせ
 のほこりをそうじ
 するふる札をば
 やしろへおさめて
 それよりもちを
 つく
 つもちつきも
 ついていはふや
 きねのとし
 それよりして
 かざり竹かざり
 松をうるものもあ
 りゆみやまを
 うれば子どもよ
 ろこびつきしたふ
 てあゆむ知行
 取は物なりを納
 金持は金銀を
 おさむそれ／＼
 にしてとしを
 とく
 かし金や
 利もつの
 おわり
 としのくれ

▲としもほどなく
 くれはとも正月
 下旬になれどと
 下としとり子
 をひとて心のいそ
 がはしき事やむ
 事なしまづす、
 をはきて一とせ
 のほこりをそうじ
 するふる札をば
 やしろへおさめて
 それよりもちを
 つく
 つもちつきも
 ついていはふや
 きねのとし
 それよりして
 かざり竹かざり
 松をうるものもあ
 りゆみやまを
 うれば子どもよ
 ろこびつきしたふ
 てあゆむ知行
 取は物なりを納
 金持は金銀を
 おさむそれ／＼
 にしてとしを
 とく
 かし金や
 利もつの
 おわり
 としのくれ

▲としもほどなく
 くれてはや十二月
 下旬になれば上
 下としとり子
 をひとて心のいそ
 がはしき事やむ
 事なしまづす、
 をはきて一とせ
 のほこりをそうじ
 するふる札をば
 やしろへおさめて
 それよりもちを
 つく
 つもちつきも
 ついていはふや
 きねのとし
 それよりして
 かざり竹かざり
 松をうるものもあ
 りゆみやまを
 うれば子どもよ
 ろこびつきしたふ
 てあゆむ知行
 取は物なりを納
 金持は金銀を
 おさむそれ／＼
 にしてとしを
 とく
 かし金や
 利もつの
 おわり
 としのくれ



それではこのセッションを終わりにします